

オンデマンド開催【配信期間:10月1日(金)～10月22日(金)】

第28回「令和3年度 瀬戸内海研究フォーラム in 福岡」 きれいで、豊かで、賑やかな瀬戸内海を どうやって達成するか

趣旨

瀬戸内海は瀬戸内環境保全特別措置法の改正(改正瀬戸内法)によって、環境保全の進め方が次のステップに入りました。つまり、これまで水質の保全、自然景観の保全という二つが柱であったところから、沿岸域の環境の保全、再生及び創出、自然景観及び文化的景観の保全、水質の保全及び管理、水産資源の持続的な利用の確保という四つが柱になりました。

そして、美しい海、多様な生物が生息できる海、賑わいのある海という三つの多面的価値・機能によって構成される豊かな海が瀬戸内海の目指すべき将来像となりました。

このフォーラムでは、世界の環境首都・SDGsの実現に向け、「市民環境力」を活かしながら、環境・経済・社会の両立を目指している北九州市を舞台として、改正瀬戸内法が求める「きれいで、豊かで、賑わいのある瀬戸内海とはどのようなものであるか」を三つのセッションに分けて、議論を深めることにしたいと思います。

オンデマンド配信のご案内

■ 配信内容

- ・動画: 講演動画、ポスターフラッシュ口頭発表
- ・資料: 要旨集、講演スライド、ポスター

■ 配信システム

インターネットブラウザを使用したストリーミング配信
推奨環境は以下の通り

Microsoft Edge (最新版)、Mozilla Firefox (最新版)
Google Chrome (最新版)、macOS Safari (最新版)

■ 配信期間: 10月1日(金)～10月22日(金)まで

■ 参加料: 無料



↑曾根干潟(北九州市HP)

↑若戸大橋 (北九州市観光協会)

【参加登録】は Googleフォームよりお願いいたします
参加登録受付期間: 9月29日(水)～10月22日(金)

下記のGoogleフォームにアクセスされ、次の①～③を入力後送信してください。折り返しメールアドレスへ視聴URLとID・パスワードを返信いたします。

①氏名 ②所属 ③メールアドレス



Googleフォーム

<https://forms.gle/9jgRsqTVCXrq993n8>

☞ QRコードからもアクセスできます

送信後、10分以内に返信がない場合、
メール(web@seto.or.jp)にてお問い合わせください。

(特非)瀬戸内海研究会議事務局

〒651-0073兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2東館5階
(公社)瀬戸内海環境保全協会内

TEL: 078-241-7720 E-mail: web@seto.or.jp

URL: <http://www.seto.or.jp/kenkyu/>

主催: 特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議

共催: 瀬戸内海環境保全知事・市長会議

協賛: (公社)瀬戸内海環境保全協会

後援: 環境省、国土交通省九州地方整備局、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所
福岡県、北九州市、福岡県教育委員会、北九州市教育委員会、九州大学

瀬戸内海研究フォーラム in 福岡 オンデマンド開催 プログラム

挨拶・祝辞

(特非)瀬戸内海研究会議
理事長 柳 哲雄

瀬戸内海環境保全知事・市長会議
代表幹事(兵庫県環境部長) 遠藤 英二

環境省水・大気環境局水環境課
閉鎖性海域対策室長 行木 美弥

福岡県環境部長 小磯 真一

北九州市環境局環境監視部長 作花 哲朗

全体趣旨説明 瀬戸内海研究フォーラムin福岡 運営委員会

基調講演

・「瀬戸内海環境保全特別措置法の改正について」
(環境省水・大気環境局水環境課
閉鎖性海域対策室長) 行木 美弥

第1セッション

テーマ「きれいで」(環境関係)

趣旨説明 (福岡県保健環境研究所管理部
計測技術課長) 熊谷 博史
コーディネーター (九州大学大学院工学研究院 准教授) 清野 聡子

・福岡県における瀬戸内海の水質保全の取り組み
(福岡県環境部環境保全課長) 高橋 洋子

・北九州市の環境政策とSDGs
(北九州市環境ミュージアム館長) 松岡 俊和

・関門海峡の砂堆の移動と流れ
(九州大学大学院工学研究院 教授) 杉村 佳寿

・みんな参加型の循環型社会！
ケミカル技術でプラ再生！ 岩元 美智彦
(日本環境設計(株) 代表取締役会長)

第2セッション

テーマ「豊かで」(経済関係)

趣旨説明 (近畿大学産業理工学部 教授) 日高 健
コーディネーター

・瀬戸内海における水産資源の動向
(国研)水産研究・教育機構水産資源研究所
水産資源研究センター 漁業管理グループ長) 亘 真吾

・福岡県豊前海域における漁業の特色と現状
(福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所
漁業資源課 研究員) 後川 龍男

・豊前海におけるカキ養殖の歩みと現在の
取り組みについて (福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所
浅海増殖課 技師) 田中 慎也

・周防灘西部における漁業・漁村の6次産業化
の取り組み (近畿大学産業理工学部 教授) 日高 健

第3セッション

テーマ「賑やか」(社会関係)

趣旨説明 (日本カブトガニを守る会福岡支部長) 高橋 俊吾
コーディネーター

(九州大学大学院工学研究院 准教授) 清野 聡子

・豊前の海辺を守る活動と環境教育
(豊の国海幸山幸ネット 事務局長) 原賀 いずみ

・多世代が集う魚部カフェ(バイオフィリア)の
取組み (NPO法人 北九州・魚部 副理事長) 上野 由里代

・曾根干潟の保全・利用に関する北九州市の
取組み (北九州市環境局環境監視課自然共生係長) 新谷 拓也

・自然環境を生かした海洋体験
(北九州市立もじ少年自然の家
指導・ボランティア事業 主任) 菅 康英

・源流から干潟までの参加体験型学習と
環境保全活動～水と緑の美化プロジェクト～ 玉田 哲高
(東朽網校区まちづくり協議会 事務局長)

・地域の誇り カブトガニの棲む海
曾根干潟を学び、守る 北九州市立
曾根東小学校
6年生児童

ポスター発表セッション

「瀬戸内海と周辺地域の環境・経済・社会に関する 研究・活動報告」

フォーラム後記

運営委員長 清野 聡子
(九州大学大学院工学研究院 准教授)



↑関門橋 (北九州市観光協会)